

**【施策④】 幹線・広域・生活圏交通間の乗換環境の向上****【目的等】**

幹線・広域・生活圏交通の三階層による公共交通ネットワークを強化し、利便性の向上を図るべく、これらの交通間の接続性の向上や、交通拠点の機能強化等により、乗換環境の向上を図る。

**1 取組概要****①幹線交通と広域交通・生活圏交通の乗換拠点の機能強化**

幹線・広域・生活圏交通の乗換拠点である地域内の中心都市（小樽、倶知安、岩内、余市、長万部）において、乗降場の集約やターミナル再整備等、拠点機能を強化し、利用者の利便性・快適性の向上を図る。

**②広域交通と生活圏交通の接続性向上**

- ・事業者間でダイヤ等の情報共有を図りながら、既存の運行ルートの見直しやダイヤ変更等を行い、広域交通とのアクセス性の向上を図り、利用者利便の向上を図る。
- ・広域交通を利用しづらい公共交通の空白地域においては、各市町村において単独計画を策定し、コミュニティバスやデマンド交通を導入するなど、市町村の中心部や広域交通にアクセスしやすい生活圏交通の確保に向けた検討を進める。

**2 令和4年度の具体的な取組内容（※以下、【 】内は実施（予定）時期等）****後志地域公共交通活性化協議会としての取組**

- 乗換拠点の機能を強化し、生活圏から広域的な交通までの利用をスムーズに行うことができる環境の構築に取り組む

**国**

- 各市町村が単独計画に基づき生活圏交通の見直しや乗継環境の整備等実施する場合において、必要な助言（運行費補助や許認可にあたっての助言など）を行っていく【4～3月】

**北海道**

- エリア別検討会で行われる幹線・広域・生活圏交通間の乗換環境向上に係る議論を踏まえて調整や助言をする

**市町村**

- 各市町村における実情やニーズに応じて、幹線交通と広域・生活圏交通の乗換拠点への機能集約などにより、拠点機能を強化することで、利用者の利便性・快適性の向上を図る【エリア別検討会で行う】
  - ・赤井川村が運行する「むらバス」の乗換環境向上のため、関係者と情報交換を行う【赤井川村】
  - ・新幹線駅を活用したまちづくり4駅合同会議【小樽市・倶知安町・長万部町：7月】
  - ・老人クラブとの意見交換会の実施によるニーズの把握【共和町：11月】
  - ・デマンドバスの運行に係る実証運行の実施【古平町：11月、倶知安町12～2月】
- 市町村単独計画に基づく乗換環境向上や公共交通空白地域対策など、生活圏交通の利便性向上や確保に向けた取組を進める

**交通事業者**

- 乗車人員など利用動向に係るデータ等（実態調査結果等）のエリア別検討会への提供
- エリア別検討会での意見や利用実態を踏まえたダイヤ改正の実施【4、12月】
- 赤井川村が運行する「むらバス」の乗換環境向上のため、関係者と情報交換を行う